

学校目標

ふるさとを愛し 心豊かで たくましく生きるこどもの育成

学校運営スローガン

みんなの 笑顔 輝く 佐太小

めざす子ども像

- ★ 学ぶ意欲をもち よく考え 豊かに表現することも 〈知〉
- ★ 自分を 人を 大切にできることも 〈徳〉
- ★ 強い心と体をもち 粘り強くがんばることも 〈体〉

めざす教職員像 ～チーム佐太小（共に学び続け、高め合う教職員）～

- ★ 児童の【笑顔】のためになっているかを常に考え、行動する教職員
- ★ 同僚性を高め、互いに自分の持ち味（強み）を出し合い、認め、高め合っていく教職員
- ★ 人権感覚を磨き、全児童、全教職員の人格と生命を守る教職員
- ★ 児童、保護者、地域の願いを真摯に受け止め、協働する教職員

○教育諸法規

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領等

○「しまね教育振興ビジョン」

- 1 すべての子どもが学びの主人公
～一人ひとりを尊重する学校～
- 2 実体験に根差した本物の教育
～地域とともにある学校～
- 3 挑戦心、探究心が育つ学びの環境
～子どもも大人も学び成長する学校～

○「しまね特別支援教育
魅力化ビジョン」より

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの推進

鹿島ふれあい学園
共通めざす子ども像

かしこく（自ら学ぶ子）

しっかり（心身を鍛える子）

まごころで（思いやる子）

達成のための5つの柱

（1）確かな学力を育てる 校内研究：「主体的に課題に取り組み、共に学び続ける子ども」
～「問い」をもち、考えを伝え合い深め合う授業づくり～

- ◎ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の推進（授業改善、指導力の向上）
 - ・「問い」を意識した授業づくり
 - ・児童自身が課題を設定しそれに向かう個別最適な学習の工夫
 - ・個に応じた指導と支援の工夫（基礎・基本の確実な定着、ICTの効果的な活用等）
 - ・考えを表現し、認め合い、さらに深める協働的な学習の工夫
 - ・ICTを上手に活用できる力を育てる
- ◎ 学力向上を目指した研究の推進
- ◎ 安心して学ぶことができる学級づくり
- ◎ 家庭との連携（家庭学習の習慣化、内容の工夫と充実）

（2）豊かな心を育てる

- ◎ 互いの個性やよさを認め合い、共に高まろうとする集団づくり
 - ・安心して自分の考えが表現できる環境づくり
 - ・道徳教育、人権教育、特別支援教育の推進
- ◎ 深い児童理解に立った生徒指導の充実
 - ・徹底した児童理解と温かい人間関係・絆づくり・仲間づくり
 - ・生徒指導上の様々な課題に対する組織的な支援
（不登校、不適応の児童への組織的な支援、いじめの未然防止と組織的な対応等）
 - ・外部機関との連携
- ◎ 家庭との連携（保護者も笑顔になれるように）

（3）健やかな体をつくる

- ◎ 心と体の健康
 - ・基本的な生活習慣の確立と自己管理能力の向上
 - ・メディア学習、情報リテラシーの推進
 - ・健康、安全、食育教育の充実
 - ・体育、保健学習の充実
- ◎ かしこい体づくりの推進（体幹トレーニングの継続）

（4）危機管理体制の確立

- ◎ 教職員の危機管理意識の高揚と危機管理体制の見直し
- ◎ 校舎内外の安全点検と整備
- ◎ 災害への備えの充実（避難訓練等）

（5）地域と共に子どもを育てる学校づくり

- ◎ 保幼小中一貫教育の推進（架け橋プログラムの作成と実践）
- ◎ 地域のひと・もの・ことから学ぶふるさと教育の充実→子どもたちからの発信
- ◎ 家庭・地域・関係機関との相互理解と連携（地域の方々も笑顔になるように）

五つの柱に対応するための重点項目
| 様々な課題に、迅速かつ丁寧に対応する学校組織体制を充実する。
① 人権教育、道徳教育、特別支援教育を基盤とした教育活動を推進する。
② 保幼小中・家庭・地域・関係機関との相互理解と連携を深め、効果的な教育活動を推進する。
③